

腎臓内科・血液浄化センター

名誉教授 阿部富彌

教授 重松 隆

准教授 根木茂雄

助教 坂口俊文・織田ひかり

研究概要

I. 慢性腎臓病 (CKD : Chronic Kidney Disease) 研究

透析療法導入時の約 1000 例のデータベースから、CKD 患者の透析療法開始以前の腎不全進行抑制療法を検討し、透析開始の実態調査を通じて透析療法導入基準の策定に役立つデータを収集する。

1. 降圧薬 (ACEI, ARB) を中心に、蛋白尿と腎機能並びに血清カリウムに対する影響を検討する。
2. 保存期 CKD 患者においてカルシウム・リン管理に対する活性型ビタミン D 製剤の投与の効果を検討する。特に腎機能保持効果を検証する。
3. 保存期 CKD 患者におけるエリスロポエチン製剤の投与の有効性を検討する。特に腎機能保持効果を検証する。
4. CKD 患者における心血管障害の発生頻度とその影響因子を検討する。
5. 透析療法の開始を各専門医が決断した際の、生化学的検査項目の値により透析導入時期決定ラインを推定し、次世代の透析導入基準案作成を試みる。

II. 末期腎不全の合併症とその修復

1. 腎機能低下に基づく二次性副甲状腺機能亢進症の発症機序に、リンの負荷がどのように関与しているかを 5/6 腎臓摘出モデルラットに高リン食を食べさせる事により検討している。その結果、腎機能低下によるネフロン減少に伴う活性型ビタミン D の減少が引き金となって、FGF-23 の増加と副甲状腺刺激がおこる事を見いだした。
2. 慢性腎臓病患者では、血管石灰化をはじめとする動脈硬化症の進展が知られている。また高リン血症患者さんでは心血管疾患による障害や死亡例が多いことが疫学調査研究で明らかになっている。この両者を繋ぎ得る可能性として、リン負荷による血管石灰化の促進や動脈硬化進展機序を検討している。In vitro 研究では、リン負荷がナトリウム・リン共輸送体を介してアポトーシスを介して直接血管石灰化を進展させる事が明らかとなった。また in vivo 研究では、アデニン負荷ラットで大動脈の血管石灰化が促進されるモデルを作成し得た。今後は血管石灰化機序を in vivo でも検討予定である。
3. 二次性副甲状腺機能亢進症の患者に対し、新たに臨床使用が可能となった Calcimimetics であるシナカルセトを用いて治療を行う。この治療に伴っておこる低カルシウム血症に対して、活性型ビタミン D アナログもしくはカルシウム製剤の投与を行う。この両者の優劣を前向き多施設ランダム化比較試験 (Combined therapy of Maxacalcitol and Cinacalcet ; COMACI study) を行っている。
4. 二次性副甲状腺機能亢進症の患者に対する大規模観察研究が計画 (2HPT アウトカム研究) され実施され、その参加を行っている。
5. 既存治療 (静注 VD 製剤) 群を対照としたオープンラベル無作為化比較試験であるシナカルセト塩酸塩の二次性副甲状腺機能亢進症に対する早期介入の治療効果に関する研究 (Regpara for Early stage Secondary hyperparathyroidism Treatment Study ; REST study) が始めている。
6. 活性型 VD 製剤単独では血清 Ca、P、PTH の管理を維持できない患者においてシナカルセト塩酸塩を併用し、各々の至適投与量を決定することを目的とした二次性副甲状腺機能亢進症に対するフェレカルシトリオールとシナカルセト併用の有効性と安全性の多施設調査 (Combination Regimen of

Falecalcitriol and Cinacalcet in Renal Failure patients ; 2CRF study) も行っている。

◇著書

1. 椎崎和弘・龍田浩一・重松隆：第5章内分泌 副甲状腺ホルモン関連蛋白 (PTHrP) 透析患者の検査値の読み方 (改訂第2版) 深川雅史・山田明・秋澤忠男・鈴木正司 編：213-215, 日本メディカルセンター, 東京, 2007
2. 椎崎和弘・岡田規・重松隆：PEIT, PDIT：適応、手技、合併症、術後管理 症例に学ぶ透析療法 秋澤忠男 編：216-220, 中外医学社, 東京, 2007
3. 阿部貴弥・深川雅史：J 消化器疾患 3.便秘をどう予防し、治療するか？ EBM透析療法 2008-2009 深川雅史・秋澤忠男 編：458-464, 中外医学社, 東京, 2007
4. 阿部貴弥・深川雅史：D.骨ミネラル代謝異常 16.β-2 ミクログロブリン除去は本当に有効か？ EBM透析療法 2008-2009 深川雅史・秋澤忠男 編：370-374, 中外医学社, 東京, 2007
5. 阿部貴弥・藤森明：Ⅲ.維持透析期 19.特殊な透析療法 a.AFBF:適応、効果、注意点 症例に学ぶ透析療法 秋澤忠男 編：226-234, 中外医学社, 東京, 2007
6. 阿部貴弥・深川雅史：第5章 内分泌 18.テストステロン 透析患者の検査値の読み方 (改訂第2版) 深川雅史・山田明・秋澤忠男・鈴木正司 編：253-255, 日本メディカルセンター, 東京, 2007
7. 阿部貴弥：③透析の原理と方法 やさしい透析患者の自己管理 (改訂3版) 秋澤忠男 編：12-15, 医薬ジャーナル社, 東京, 2007
8. 小畑拓嗣：④血液透析の実際 やさしい透析患者の自己管理 (改訂3版) 秋澤忠男 編：16-19, 医薬ジャーナル社, 東京, 2007
9. 上村元洋：⑦透析患者の合併症 (2)合併症の原因と対策 (予防と治療) 4.脳血管障害 やさしい透析患者の自己管理 (改訂3版) 秋澤忠男 編：34-35, 医薬ジャーナル社, 東京, 2007
10. 根木茂雄：⑦透析患者の合併症 (2)合併症の原因と対策 (予防と治療) 8.感染症 やさしい透析患者の自己管理 (改訂3版) 秋澤忠男 編：41, 医薬ジャーナル社, 東京, 2007
11. 坂口俊文：⑦透析患者の合併症 (2)合併症の原因と対策 (予防と治療) 9.栄養障害 やさしい透析患者の自己管理 (改訂3版) 秋澤忠男 編：42, 医薬ジャーナル社, 東京, 2007
12. 嶋渡：⑦透析患者の合併症 (2)合併症の原因と対策 (予防と治療) 12.精神・心理 やさしい透析患者の自己管理 (改訂3版) 秋澤忠男 編：46, 医薬ジャーナル社, 東京, 2007
13. 小田稔：⑧大切な自己管理項目 (1)食事 1.水分と塩分 やさしい透析患者の自己管理 (改訂3版) 秋澤忠男 編：47, 医薬ジャーナル社, 東京, 2007
14. 成川暢彦：⑧大切な自己管理項目 (1)食事 2.カリウム やさしい透析患者の自己管理 (改訂3版) 秋澤忠男 編：48, 医薬ジャーナル社, 東京, 2007
15. 懸高昭夫：⑧大切な自己管理項目 (2)ドライウエイト やさしい透析患者の自己管理 (改訂3版) 秋澤忠男 編：57, 医薬ジャーナル社, 東京, 2007
16. 上田俊郎：⑧大切な自己管理項目 (3)適正な検査値 やさしい透析患者の自己管理 (改訂3版) 秋澤忠男 編：58-61, 医薬ジャーナル社, 東京, 2007
17. 北端有紀子：⑨特殊な透析患者の自己管理 (3)小児 やさしい透析患者の自己管理 (改訂3版) 秋澤忠男 編：66, 医薬ジャーナル社, 東京, 2007
18. 根木茂雄・重松隆：Ⅳ.急性血液浄化法 3.透析, 濾過透析, 濾過の選択はどのように行うべきか？ EBM透析療法 2008-2009 深川雅史・秋澤忠男 編：154-157, 中外医学社, 東京, 2007
19. 根木茂雄・龍田浩一・重松隆：c.バスキュラーアクセスの選択・内シャント作成：時期, 場所, 注意点. 症例に学ぶ透析療法 越川昭三 監修, 秋澤忠男 編：28-32, 中外医学社, 東京, 2007
20. 大谷晴久・湯川進：腎疾患と脂質. 高脂血症診療エキスパートへの手引き 中谷矩章 監修・編集：85-92, 臨床医薬研究会, 東京, 2007
21. 友寄有香・島田紗千子・坂口俊文・畑村育次・重松隆：Ⅵ.維持透析患者の病態 D.骨ミネラル代謝異常 9.血管石灰化の評価と予後は？ EBM透析療法 2008-2009 深川雅史・秋澤忠男 編：337-343, 中外医学社, 東京, 2007

- 2 2. 中敏夫・篠崎正博・重松隆：I.透析患者におけるエビデンス 3.急性血液浄化法におけるエビデンス EBM 透析療法 2008-2009 深川雅史・秋澤忠男 編：27-31, 中外医学社, 東京, 2007
- 2 3. 重松隆：新しいリン吸着剤－炭酸ランタン ガイドラインサポートブック 慢性腎臓病に伴う骨ミネラル代謝異常 (CKD-MBD) 深川雅史 監修：287-296, 医薬ジャーナル社, 東京, 2007

◇総説

1. 根木茂雄・重松隆：わが国の透析患者の現況 和歌山医学 58:2-7,2007
2. 重松隆・坂口俊文・織田ひかり：特集 腎と骨 リン吸着薬 Clinical Calcium 17:772-778,2007
3. 坂口俊文・重松隆：【リン代謝とその管理の新時代 腎不全患者を中心に】血清リン濃度を変化させる薬剤 腎と骨代謝 20:297-304,2007
4. 重松隆：透析患者の高リン血症 日本透析医会雑誌 22:290-297,2007
5. 重松隆：透析医療における Current Topics 2007 リン低下薬 up to date 日本透析医会雑誌 22:198-204,2007
6. 中敏夫・篠崎正博・重松隆：【急性血液浄化の non-renal indication の拡大】Non renal indication の国際的位置づけ ICU と CCU 31 (別冊) : S57-S59,2007
7. 阿部貴弥・阿部富彌・上村元洋・小畑拓嗣・打田和宏・長谷川裕人・重松隆・深川雅史：【急性血液浄化における吸着剤開発の 展開】アルブミンを吸着剤として利用した血液浄化療法 extracorporeal albumin dialysis (ECAD) ICU と CCU 31 (別冊) : S53-S55,2007
8. 根木茂雄・重松隆：【慢性腎臓病 診断と治療の進歩】慢性腎臓病と各種疾患 腎性骨異常栄養症 (ROD) 日本内科学会雑誌 96:942-949,2007
9. 重松隆・小田稔：【透析患者の骨代謝・二次性副甲状腺機能亢進症】透析液カルシウム濃度の意義 透析患者の合併症とその対策 16:27-37,2007
- 1 0. 上村元洋・重松隆：【エビデンスに基づく腎疾患治療ガイド】腎性骨症の治療ガイド 腎と透析 62:630-635,2007
- 1 1. 島田紗千子・重松隆：【骨粗鬆症と代謝性骨疾患 実地診療に役立つノウハウとその使い方】骨粗鬆症と代謝性骨疾患・セミナー 実地医家のための二次性骨粗鬆症と代謝性骨疾患を疑う患者の管理ポイント 腎不全・透析患者 Medical Practice 24:451-456,2007
- 1 2. 間生ゆり・重松隆：【動脈硬化・血管石灰化とカルシウム】慢性腎不全と動脈硬化・血管石灰化 Clinical Calcium 17:354-359,2007
- 1 3. 重松隆：腎性骨症治療法の適応と限界を見極めるカルシウムとリンを適正におさめるための道具 (ツール) 日本透析医学会雑誌 40:43-44,2007
- 1 4. 坂口俊文：【CKD (chronic kidney disease) 早期介入による一次予防の時代へ】腎臓病における血管病変と期待されるその新しいモデル 治療学 41:177,2007
- 1 5. 阿部貴弥・阿部富彌・上村元洋・小畑拓嗣・打田和宏・長谷川裕人・重松隆・深川雅史：アルブミンを吸着剤として利用した血液浄化療法: extracorporeal albumin dialysis (ECAD) ICU と CCU 31 (別冊) : S53-S55,2007
- 1 6. 阿部貴弥・深川雅史：腹膜透析液の現況 細胞 39:215-216,2007
- 1 7. 根木茂雄・岡本昌典・重松隆：二次性副甲状腺機能亢進症と腎移植 Clinical Calcium 17:1880-1887,2007
- 1 8. 大谷晴久：IgA 腎症の扁桃摘＋ステロイドパルス療法 日本臨床内科医会雑誌 21:478,2007
- 1 9. 重松隆：ビタミン D 治療と透析液 Ca 濃度を考える 透析フロンティア 透析療法における様々な疑問に答える 5:34-52,2007
- 2 0. 重松隆：腎臓が悪くなるとどうして骨が悪くなるのか? 関西腎と薬剤研究会誌 8:1-7,2007
- 2 1. 重松隆：成り立ちから考える高血圧と腎臓病 田辺市医師会 医師会だより 365:9-13,2007
- 2 2. 重松隆：透析合併症を学ぼう 和腎会 OKT17:2-3,2007
- 2 3. 重松隆：検査を通して考える透析合併症 腎不全看護 seminar report, 2007

◇原著

1. Shiizaki K, Hayakawa N, Imazeki I, Hatamura I, Okada T, Negi S, Sakaguchi T, Shigematsu T, Akizawa T: Binding of highly concentrated maxacalcitol to the nuclear vitamin D receptors of parathyroid cells. *Nephrol Dial Transplant*. 22:1078-1086,2007
2. 成瀬友彦・渡邊有三・石田裕則・水野紹夫・草野英二・鈴木正司・松信清一・葉山修陽・秋葉隆・小口健一・重松隆・望月隆弘・入江康文・衣笠えり子・山崎親雄・和田誠次・森石みさき・碓井公治・藤原謙太・水口隆・福成健一・東治道・塚本雄介・内田英二・岩崎学・秋澤忠男・越川昭三：新規透析導入後 rHuEPO 製剤未投与の血液透析患者を対象とした貧血改善用量検討試験 KRN321 (Darbepoetin alfa) 第Ⅲ相臨床試験 腎と透析 62:977-988,2007
3. 中井滋・政金生人・秋葉隆・井関邦敏・渡邊有三・伊丹儀友・木全直樹・重松隆・篠田俊雄・勝二達也・庄司哲雄・鈴木一之・土田健司・中元秀友・濱野高行・丸林誠二・守田治・両角國男・山縣邦弘・山下明泰・若井建志・和田篤志・椿原美治・日本透析医学会統計調査委員会：わが国の慢性透析療法の現況 日本透析医学会雑誌 40:1-30,2007
4. Fujii H, Kim J I, Abe T, Umezu M, Fukagawa M: Relationship between parathyroid Hormone and cardiac abnormalities in chronic dialysis patients. *Intern Med*. 46:1507-1512,2007
5. Fujii H, Abe T, Umezu M, Fukagawa M: Tako-tsubo cardiomyopathy associated with brain metastasis of seminoma in a patient with chronic kidney disease. *Intern Med*. 46:1419-1424,2007
6. Maeshima E, Maeshima S, Mizobata R, Goda M, Sakagashira M, Otani H, Mune M: Life-style activities in systemic lupus erythematosus. *Clin Exp Rheumatol*. 25:189-194,2007
7. Maeshima E, Liang XM, Goda M, Otani H, Mune M: The efficacy of vitamin E against oxidative damage and autoantibody production in systemic lupus erythematosus: a preliminary study. *Clin Rheumatol*. 26:401-404, 2007
8. Liang XM, Otani H, Zhou Q, Tone Y, Fujii R, Mune M, Yukawa S, Akizawa T: Various dietary protein intakes and progression of renal failure in spontaneously hypercholesterolemic imai rats. *Nephron Exp Nephrol*. 105:e98-e107, 2007
9. Liang XM, Otani H, Zhou Q, Tone Y, Fujii R, Mune M, Yukawa S, Akizawa T: Renal protective effects of pitavastatin on spontaneously hypercholesterolaemic imai rats. *Nephrol Dial Transplant*. 22:2156-2164, 2007
10. Yamashita H, Yamazaki Y, Hasegawa H, Yamashita T, Fukumoto S, Shigematsu T, Kazama J, Fukagawa M, Noguchi S: Fibroblast growth factor-23 (FGF23) in patients with transient hypoparathyroidism: Its important role in serum phosphate regulation. *Endocr J*. 54:465-470, 2007

◇学会報告

a) 国際学会

1. Tatsuta K: A case of severe exertional heat stroke complicated with multiple organ failure treated with blood purification including plasma exchange. 6th World Congress of the International Society for Apheresis. 2007.3.2-4. Yokohama
2. Shiizaki K, Hatamura I, Sakaguchi T, Imazeki I, Kato S, Akizawa T, Kusano E: Calcitonin and its analog successfully elongate survival period and improve the skeletal growth via independent pathway of vitamin D receptor. 27th Annual Meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2007.9.16-19. Hawaii
3. Sakaguchi T, Kohno T, Yoshida T, Uchino J, Ohura M, Okada T, Shimada S, Negi S, Shigematsu T: Serum osteoprotegerin (OPG) in Japanese hemodialysis (HD) patients: Relationship with aortic arch calcification and other factors. 40th Annual Meeting of American Society of Nephrology. 2007.10.31-11.5. San Francisco.
4. Sakaguchi T, Hatamura I, Shimada S, Shiizaki K, Orita H, Negi S, Shigematsu T: Possible contribution of angiogenesis to the secondary hyperparathyroidism. 40th Annual Meeting of American Society of Nephrology. 2007.10.31-11.5. San Francisco.

5. Okada T, Sakaguchi T, Hatamura I, Saji F, Negi S, Otani H, Muragaki Y, Kawachi H, Shigematsu T: Tolvaptan, a selective oral vasopressin V2 receptor antagonist, ameliorates podocyte injury in puromycin aminonucleoside nephrotic rats. 40th Annual Meeting of American Society of Nephrology. 2007.10.31-11.5. San Francisco.
6. Shimada S, Shibata M, Hatamura I, Shigematsu T: Microarray analysis of uremic vascular calcification model with hyperphosphatemia; possible involvement of perlecan. 40th Annual Meeting of American Society of Nephrology. 2007.10.31-11.5. San Francisco.
7. Shimada S, Shibata M, Hatamura I, Shigematsu T: The inhibition of Pit-1 can diminish vascular calcification induced by elevated phosphate in rat aortic tissue culture. 40th Annual Meeting of American Society of Nephrology. 2007.10.31-11.5. San Francisco.
8. Shigematsu T, Kawanishi H: Clinical efficacy of lanthaum carbonate in japanese patients with hyperphosphatemia undergoing continuous ambulatory peritoneal dialysis. The 3rd Asian Chapter Meeting of International Society for Peritoneal Dialysis. 2007.11.22-24. Hiroshima
9. Shiizaki K, Imazeki I, Hayakawa N, Hatamura I, Sakaguchi T, Negi S, Shigematsu T, Kato S, Akizawa T: Possibility of vitamin D receptor independent Ca regulation of maxacalcitol. 44th Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association. 2007.6.21-24. Barcelona
10. Hatamura I, Negi S, Shiizaki K, Suemoto H, Sakaguchi T, Shimada S, Nishioka K, Itoh S, Akizawa T, Shigematsu T, Muragaki Y: The cloning and identification of new expressed gene in mainly parathyroid chief cells by SSH and DNA microarray. 40th Annual Meeting of American Society of Nephrology. 2007.10.31-11.5. San Francisco.
11. Shiizaki K, Hatamura I, Sakaguchi T, Imazeki I, Akizawa T, Shigematsu T, Kusano E: Maxacalcitol improve the skeletal abnormalities due to vitamin D deficiency via independent pathway of vitamin D receptor. 40th Annual Meeting of American Society of Nephrology. 2007.10.31-11.5. San Francisco.
12. Komaba H, Abe T, Kobata H, Uchita K, Kamimura M, Matsui Y, Kadoguchi H, Shigematsu T, Fukagawa M: The new therapeutic approach for the accumulating states of albumin-binding uremic toxins derived from intestinal flora the dialysis patients. 6th World Congress of the International Society for Apheresis. World Apheresis Association 11th Congress. 2007.3.2-4. Yokohama
13. Abe T, Abe T, Kobata H, Uchita K, Kitabata Y, Hasegawa H, Kitaura K, Shigematsu T, Fukagawa M: The evaluations of albumin-binding uremic toxins derived from intestinal flora in the patients who underwent conventional dialysis therapies. 6th World Congress of the International Society for Apheresis. World Apheresis Association 11th Congress. 2007.3.2-4. Yokohama
14. Yukawa S, Sakamoto W, Koshida S, Nishide I, Otani H: Serum myeloperoxidase activity and α -tocopherol levels in japanese metabolic syndrome. The 5th International Human Peroxidase Meeting. 2007.2.19-27. New Zealand
15. Sakamoto W, Fujii Y, Yukawa S, Otani H, Ieko M, Izumi H, Arnold J: Application a novel assay system of serum myeloperoxidase activity to atherosclerosis patients. The 5th International Human Peroxidase Meeting. 2007.2.19-27. New Zealand
16. Yukawa S, Sakamoto W, Koshida S, Nishide I, Otani H: Serum myeloperoxidase activity in metabolic syndrome. International Conference on Foods Factors for Health Promotion. 2007.11.27-12.1. Kyoto
17. Yukawa S, Sakamoto W, Koshida S, Nishide I, Otani H: Serum α -tocopherol levels decrease in metabolic syndrome. International Conference on Foods Factors for Health Promotion. 2007.11.27-12.1. Kyoto

b) シンポジウム・学術講演等

1. 重松隆：学術講演「二次性副甲状腺機能亢進症の治療ガイドライン—高リン血症対策を中心に—」 第3回大阪透析・腎不全フォーラム 2007.1.16. 大阪
2. 重松隆：「リン低下薬 up to date」 (社) 日本透析医会研修セミナー 透析医療における Current Topics 2007 2007.3.11. 東京

3. 河野孝史・吉田豊彦・重松隆：学会・学術企画3「JSDT ガイドライン遵守によりもたらされる血清 Ca、P、intact-PTH 値の変動」 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
4. 重松隆・国本健・半羽慶行：学会・学術企画3「JSDT ガイドラインの近未来」 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
5. 重松隆：学会・学術企画5「貧血治療の現況」 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
6. 重松隆：ランチョンセミナー6「腎不全におけるカリウムをもう一度考えよう」 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
7. 重松隆：クロスファイアーディベート「骨代謝と生命予後」 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
8. 根木茂雄・岡田規・重松隆・椎崎和弘：ワークショップ「二次性副甲状腺機能亢進症に対する活性型ビタミン D 製剤直接注入療法」 第12回副甲状腺インターベンション研究会 2007.9.1. 東京
9. 重松隆：ワークショップ「ガイドライン進化へのプロローグ・PTH ユーザー側」 第26回腎と骨代謝研究会 2007.9.22. 東京
10. 根木茂雄・織田ひかり・坂口俊文・重松隆：シンポジウム「内シャント閉塞から人工血管破裂まで—緊急を要する VA 関連手術(内科医の立場から)—」 第11回アクセス研究会 2007.10.12. 浦安
11. 椎崎和弘：ワークショップ4「過形成副甲状腺内ビタミン D アナログ直接注入療法に関する分子形態学的アプローチ」 第48回日本組織細胞化学会総会・第39回日本臨床分子形態学会総会 2007.9.28-29. 甲府
12. 重松隆：特別講演「透析患者さんの検査結果をどう見るか？」 第10回京都北部透析研究会 2007.12.2. 綾部
13. 重松隆：特別講演「腎臓が悪くなるとどうして骨が悪くなるのか？」 関西腎と薬剤研究会 第36回講演会 2007.4.23. 大阪
14. 重松隆：「透析患者における骨と血管」 第7回石川腎不全合併症研究会 2007.7.21. 金沢
15. 重松隆：「透析早期からの静注ビタミンD療法の意義」 第7回東京腎不全骨代謝研究会 2007.7.28. 東京
16. 重松隆：イブニングセミナー「生命予後改善を重視したわが国のリン・Ca代謝異常治療ガイドラインの評価と将来」 第13回日本HDF研究会 2007.9.8. 大分
17. 阿部貴弥：ランチョンセミナー「新しい血液浄化療法—アルブミン透析：molecular adsorbent recirculating system (MARS)—」 第10回日本臨床救急医学会総会・学術集会 2007.5.17. 神戸
18. 阿部貴弥：初心者・コメディカルのためのアフエレシス講座 22「アフエレシスの副作用」 第27回日本アフエレシス学会学術大会 2007.3.2. 横浜
19. 重松隆：「腎性貧血の成り立ちと対策」 第3回熊本腎と薬剤研究会 2007.5.12. 熊本
20. 重松隆：特別講演「CKD-MBD と二次性副甲状腺機能亢進症の治療ガイドライン～透析患者の高リン血症を中心に～」 第74回東海人工透析談話会 2007.3.24. 名古屋
21. 重松隆：教育セミナー8「腎不全患者のリンコントロール」 第95回日本泌尿器科学会 2007.4.14. 神戸
22. 重松隆：「透析患者における骨と血管を考えよう。—リンのコントロールを中心に—」 第19回兵庫県透析合同研究会 2007.9.30. 神戸
23. 重松隆・根木茂雄：「血漿交換療法および血液浄化法について」 第51回日本輸血・細胞治療学会近畿支部総会 2007.12.1. 和歌山

c) 全国学会

1. 椎崎和弘・畑村育次・根木茂雄・坂口俊文・重松隆・秋澤忠男：マキサカルシトールには vitamin D receptor 非依存的な Ca 調節効果を有する可能性がある 第50回日本腎臓学会学術総会 2007.5.25-27. 浜松
2. 重松隆：新規リン吸着剤炭酸ランタン (BAY77-1931) の血液透析患者における高リン血症に対する長期投与効果の検討 第50回日本腎臓学会学術総会 2007.5.25-27. 浜松
3. 内野順司・高桑守・武田稔男・正井基之・河野孝史・吉田豊彦・重松隆・白井厚治：透析時 CAVI (Cardio Ankle Vascular Index) の変動因子に関する検討(第2報) 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
4. 伊藤和子・田中元子・伊達敏行・橋口純一郎・船越哲・中野広文・久保仁・河野孝史・内野順司・正木一伸・廣瀬悟・重松隆：血液透析患者の血清 Ca・Pi 値への影響因子～多変量解析を含めて～ 第52回(社)日本透析医学

会学術集会 2007.6.15-17. 大阪

5. 田中元子・伊藤和子・伊達敏行・橋口純一郎・船越哲・中野広文・久保仁・河野孝史・内野順司・正木一伸・廣瀬悟・重松隆：JSDT 二次性副甲状腺機能亢進症治療ガイドライン達成率について 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
6. 川西秀樹・石田真理・石崎允・田熊淑男・田村博之・小林修三・田村禎一・大橋宏重・平松信・水口潤・平方秀樹・重松隆：新規リン吸着剤炭酸ランタン(SAY77-1931)の腹膜透析患者における高リン血症に対する有効性及び安全性 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
7. 重松隆：新規リン吸着剤炭酸ランタン(BAY77-1931)の炭酸カルシウムとの二重盲検比較試験 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
8. 小岩文彦・渡辺励・重松隆・坂口俊文・篠田俊雄・山家俊彦・安藤亮一・北野和彦・長谷弘記・岡本裕美・小松康宏・大坂守明・関原宏幸・池田雅人・宮川浩之：透析開始時の慢性腎疾患に伴う骨ミネラル代謝異常(CKD-MBD)の関与因子の多施設共同研究 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
9. 安藤亮一・北野和彦・大場博・篠田俊雄・山家俊彦・長谷弘記・小岩文彦・渡辺励・宮川浩之・池田雅人・小松康宏・大坂守明・坂口俊文・重松隆：透析導入時バスキュラーアクセス(VA)の現状と予後との関連 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
10. 坂口俊文・重松隆・国本健・松木和夫・宮川浩之・池田雅人・篠田俊雄・山家俊彦・安藤亮一・北野和彦・長谷弘記・岡本裕美・小松康宏・大坂守明・小岩文彦・渡辺励：血液透析導入時における血液検査の検討—糖尿病・非糖尿病の比較 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
11. 長谷弘記・安藤亮一・池田雅人・岡本裕美・北野和彦・小岩文彦・小松康宏・坂口俊文・宮川浩之・山家俊彦・関原宏幸・大坂守明・渡辺励・篠田俊雄・重松隆：透析導入前における心血管病発症頻度と高血圧の治療 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
12. 後藤雅宏・武田稔男・内野順司・正井基之・河野孝史・吉田豊彦・重松隆：透析困難症に対する適正除水量の指標ΣBV%の有用性 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
13. 船越哲・橋口純一郎・田中元子・伊藤和子・伊達敏行・河野孝史・久保仁・正木一伸・中野広文・内野順司・廣瀬悟・重松隆：腎性貧血の治療効果に対する影響因子に関する多施設共同研究 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
14. 橋口純一郎・船越哲・河野孝史・内野順司・正木一伸・伊達敏行・田中元子・伊藤和子・中野広文・久保仁・廣瀬悟・重松隆：維持透析患者のHt値およびEPO反応性に影響を及ぼす因子に関する多施設共同研究 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
15. 稲山えみ・半羽慶行・得津浩示・阪口圭志・森義雄・田村公之・重松隆：HD患者のRBCサイズの解析：腎性貧血としての大球性貧血の分析 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
16. 根木茂雄・小田稔・半羽慶行・国本健・岡田規・河野孝史・内野順司・正木一伸・伊達敏行・船越哲・橋口純一郎・田中元子・伊藤和子・中野広文・久保仁・廣瀬悟・重松隆：血液透析(HD)患者のHb値と入院・心血管系疾患・シャントトラブルの関連性の検討 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
17. 鈴木敏弘・佐々木英・武田稔男・内野順司・正井基之・河野孝史・吉田豊彦・重松隆：心血管疾患を発症した透析患者の臨床的特徴の検討 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
18. 河野孝史・内野順司・正木一伸・伊達敏行・船越哲・橋口純一郎・田中元子・伊藤和子・中野広文・久保仁・廣瀬悟・重松隆：維持透析患者の血清K値の影響因子に関する多施設共同研究 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
19. 児玉敏宏・笹原寛・木村圭吾・児玉直也・後藤哲也・前田明文：透析中の慢性C型肝炎患者に対し、PEG-IFNの増量投与を行い著効した一例 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
20. 半羽慶行・稲山えみ・椎崎和弘・小田稔・坂口俊文・根木茂雄・重松隆・得津浩示・阪口圭志・森義雄・田村公之：カルシウム受容体作動薬(calcimimetics)を服用する維持透析患者の3例 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
21. 重松隆・秋澤忠男・塚本雄介・内田英二・岩崎学・越川昭三・KRN1493研究会：維持血液透析(HD)患者における二次性副甲状腺機能亢進症(2°HPT)患者に対するCalcimimetics(KRN1493)長期投与の検討—第Ⅲ相長期投与試験— 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪

22. 河野孝史・内野順司・正井基之・吉田豊彦・横山啓太郎・重松隆：低PTH透析患者におけるPTH上昇に関する因子についてのヒストリカルコーホート研究 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
23. 小田稔・岡本昌典・根木茂雄・坂口俊文・友寄有香・島田紗千子・廣瀬悟・正木一伸・中野広文・田中元子・伊藤和子・船越哲・橋口純一郎・伊達敏行・久保仁・河野孝史・内野順司・重松隆：HD患者のシャントトラブルを含んだ脳・心血管系合併症と血清学的パラメータの関連性 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
24. 内野順司・高桑守・武田稔男・正井基之・河野孝史・吉田豊彦・重松隆・白井厚治：新しい血管機能検査CAVI(Cardio Ankle Vascular Index)の2年間進行因子に関する検討 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
25. 鈴木敏弘・山本淳・佐々木英・武田稔男・内野順司・正井基之・河野孝史・吉田豊彦・重松隆：逆浸透(RO)膜の熱湯消毒可能なRO水処理装置の水清浄化に対する有効性の検討 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
26. 宮本恵理・奈良美菜子・牛嶋信子・小島康子・市村美恵子・重松隆：事故防止意識の向上とリスク低減を図るためのインシデント収集法の検討 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
27. 熊切こず恵・武田稔男・内野順司・正井基之・河野孝史・吉田豊彦・重松隆：透析患者の血清Mg値の実態調査 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
28. 熊切こず恵・武田稔男・内野順司・正井基之・河野孝史・吉田豊彦・重松隆：透析患者の家性Mg値に対する規定因子の解析 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
29. 後藤雅宏・武田稔男・内野順司・正井基之・河野孝史・吉田豊彦・重松隆：毎年の血清Ca×P積平均値の総和であるCa×P積の積算値と大動脈弓部石灰化面積(AACA)との関連性の検討 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
30. 半羽慶行・岡田規・椎崎和弘・懸高昭夫・小畑拓嗣・根木茂雄・重松隆：二次性副甲状腺機能亢進症の画像診断における頸部CT検査の有用性 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
31. 椎崎和弘・畑村育次・坂口俊文・根木茂雄・重松隆・秋澤忠男：DNAマイクロアレイ法による過形成副甲状腺における遺伝子発現異常の検討 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
32. 松岡由美子・岸千夏・浅川ヒロ子・藤岡紀昭・大森容子・重松隆：塩酸セベラマー服用方法の検討～塩酸セベラマー服用の継続と炭酸カルシウム+塩酸セベラマー併用への援助～ 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
33. 武田稔男・高山奈津紀・熊切こず恵・内野順司・正井基之・河野孝史・吉田豊彦・重松隆：当院における17年間のHb値の推移とJSDT貧血治療ガイドライン達成率 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
34. 稲山えみ・龍田浩一・大浦真紀・織田ひかり・河野孝史・内野順司・正木一伸・伊達敏行・船越哲・橋口純一郎・田中元子・伊藤和子・中野広文・久保仁・廣瀬悟・重松隆：維持HD患者における腎性貧血治療の現況と各種ガイドライン目標値の達成率の検討 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
35. 武田稔男・高山奈津紀・熊切こず恵・内野順司・正井基之・河野孝史・吉田豊彦・重松隆：当院における2006年のHb値とJSDT貧血治療ガイドライン推奨値の達成率の検討 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
36. 椿原美治・西沢良記・重松隆・新田孝作・原茂子・平方秀樹・二瓶宏：血液透析(HD)患者及び保存期腎不全(CRF)患者のrHuEPO療法時の鉄剤投与に関するアンケート結果(第2報) 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
37. 高山奈津紀・後藤雅宏・武田稔男・内野順司・正井基之・河野孝史・吉田豊彦・重松隆：水清浄化評価に最適な細菌培養検査法の臨床応用の検討 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
38. 内野順司・後藤雅宏・高山奈津紀・武田稔男・正井基之・河野孝史・吉田豊彦・重松隆：微生物迅速検査装置(bioplorer:BIP)を用いた次世代の透析液清浄化指標の検討 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
39. 高橋忍・鈴木敏弘・佐々木英・武田稔男・内野順司・正井基之・河野孝史・吉田豊彦・重松隆：脳血管障害(CVD)を発症した透析患者の臨床的特徴 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪

40. 藤田寿実子・山岡慶之・永井万智子・半羽慶行・重松隆・阿部富彌：当院の透析患者の血清アルブミン値からみた栄養評価 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
41. 谷端恵子・池田千代子・梅本一美・北林豊文・坂本久香・永井万智子・藤田寿実子・藪添明子・吉村幸代・越村邦夫・半羽慶行・重松隆：和歌山県の透析患者における血清カリウム値の検討 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
42. 岡田規・小田稔・椎崎和弘・坂口俊文・根木茂雄・重松隆・南口博紀・佐藤守男：Prostaglandin E1 (PGE) 動注療法により改善した透析アクセス関連スチール症候群の1例 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
43. 阪口圭志・得津浩示・牧野美鈴・森義雄・田村公之・稲山えみ・半羽慶行・重松隆：当院における検査データのデジタル化への取り組み 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
44. 駒場大峰・駒場啓太郎・竹田陽子・門口啓・北浦圭介・藤井秀毅・阿部貴弥・阿部文・梅津道夫・深川雅史：自己閉塞により副甲状腺機能亢進症の自然寛解を認めた血液透析患者の一例 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
45. 平野景太・中尾正嗣・山口雄一郎・林弘子・清水昭博・柳沼樹宏・山本泉・川村仁美・早川洋・池田雅人・山本裕康・横山啓太郎・重松隆・細谷龍男：1年2ヶ月にわたり透析を施行し、高度かつ系統的病理所見を呈した全身性アミロイドーシスの1例 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
46. 長田しをり・小出輝・重松隆：透析液 Ca 濃度を 2.5 から 3.0mEq/L に変更時の骨代謝と血管石灰化に与える影響 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
47. 門口啓・中西昌平・駒場大峰・北浦圭介・竹田陽子・藤井秀毅・阿部貴弥・梅津道夫・伊藤貞三・深川雅史：維持透析患者における血清 FGF23 と Ca,P, i-PTH との相関の検討 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
48. 椋本一穂・森本昌宏・五百蔵博幸・中川綾子・阿部貴弥・深川雅史・草野仁・大山敦嗣：積極的な血液浄化療法が著効したと考えられた EPO 低反応性貧血の1症例 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
49. 江上定仁・宮川浩之・落合秀樹・今井勝・仁田坂謙一・早川洋・池田雅人・重松隆：生体情報モニターとしての血液回路ピロー部における酸素飽和度測定の臨床評価 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
50. 岡本昌典・重松隆・柑本康夫・射場昭典・原勲：メタボリックシンドロームモデルラットにおける腎結石形成についての検討 日本尿路結石症学会第17回学術集会 2007.8.24-25. 久留米
51. 駒場大峰・竹田陽子・門口啓・北浦圭介・藤井秀毅・阿部貴弥・阿部文・梅津道夫・深川雅史：腎臓専門医による保存期治療が透析導入後の生命予後に与える影響に関する検討 第50回日本腎臓学会学術総会 2007.5.25-27. 浜松
52. 藤井秀樹・吉矢邦彦・駒場大峰・門口啓・北浦圭介・竹田陽子・阿部貴弥・梅津道夫・深川雅史：透析患者におけるインドキシル硫酸と骨代謝との関係 第52回(社)日本透析医学会学術集会 2007.6.15-17. 大阪
53. 孫野茂樹・加茂歩美・横山朋大・阿部貴弥・長谷川裕人・打田和宏・阿部富彌・谷口昌弘・深川雅史：Non machinery dialysis の基礎的再検討 第28回日本アフェレシス学会学術大会 2007.11.17-18. 久留米
54. 湯川進・越田紗葉・西出巖・坂本亘・大谷晴久：血清 α - γ -tocopherol 濃度は Metabolic syndrome に関与するか 日本ビタミン学会第59回大会 2007.5.24-25. 長崎
55. 湯川進・坂本亘・越田紗葉・西出巖・大谷晴久：血清 α - γ -tocopherol 濃度は metabolic syndrome で低値である 第39回日本動脈硬化学会学術集会 2007.7.1. 大阪
56. 大島博・向井千秋・宮本晃・重松隆・水野康：短期宇宙飛行による骨密度・骨代謝への影響 第9回日本骨粗鬆症学会骨ドック・検診分科会 2007.11.14-16. 東京

d) 地方学会

1. 大浦真紀・半羽慶行・小田稔・坂口俊文・根木茂雄・重松隆・大谷晴久・稲垣武：チオプロニンにより発症したネフローゼ症候群の一例 第37回日本腎臓学会西部学術大会 2007.10.19-20. 福井
2. 龍田浩一・根木茂雄・岡田規・友寄有香・大浦真紀・織田ひかり・坂口俊文・重松隆・中敏夫・篠崎正博：多臓器

不全を合併した熱中症患者に対して血漿交換を含む血液浄化療法を行った1例 第26回日本アフェレンス学会関西地方会 2007.12.8. 神戸

3. 松井豊・阿部貴弥・深川雅史・芳野弘・安田尚史・横野浩一：on-line HDFによる積極的な物質除去が著効していると考えられるλ型軽鎖沈着症(LCDD)・AL型アミロイドーシス(AL)の長期維持透析患者の1例 第26回日本アフェレンス学会関西地方会 2007.12.8. 神戸
4. 加茂歩美・横山朋大・孫野茂樹・阿部貴弥・長谷川裕人・打田和宏・阿部富彌・谷口昌弘・深川雅史：専用機器を用いない血液浄化療法(Non machinery dialysis)の基礎的検討 第26回日本アフェレンス学会関西地方会 2007.12.8. 神戸
5. 駒場大峰・駒場啓太郎・竹田陽子・後藤俊介・内古閑修・門口啓・藤井秀毅・濱田康弘・阿部貴弥・阿部文・梅津道夫・深川雅史：重度の副甲状腺機能亢進症の自然寛解とともに whole-PTH/intact-PTH の逆転が改善した透析患者の一例 第37回日本腎臓学会西部学術大会 2007.10.19-20. 福井
6. 後藤俊介・駒場大峰・竹田陽子・内古閑修・門口啓・藤井秀毅・濱田康弘・阿部貴弥・阿部文・梅津道夫・深川雅史：ネフローゼ症候群を呈するも ARB のみで寛解した巣状分節状糸球体腎炎の1例 第37回日本腎臓学会西部学術大会 2007.10.19-20. 福井
7. 藤井秀毅・金鐘一・後藤俊介・内古閑修・駒場大峰・門口啓・浜田康弘・阿部貴弥・梅津道夫・深川雅史：CKDにおけるARBによる高K血症に関する検討 第37回日本腎臓学会西部学術大会 2007.10.19-20. 福井

e) その他(研究会等)

1. 岡田規・小田稔・椎崎和弘・坂口俊文・根木茂雄・重松隆・南口博紀・佐藤守男：Lipo-Prostaglandin E1 (Lipo-PGE1)動注療法により改善した透析アクセス関連スチール症候群の1例 第12回バスキュラーアクセスインターベンション治療研究会 2007.3.10. 東京
2. 福戸美代・松村利家・具志堅舞子・北畑知佐子・沖香里・阿部泰代・笹原寛・児玉敏宏直也・後藤哲也・前田明文：透析患者の腹部マッサージを取り入れた排便コントロール 第69回和歌山透析研究会 2007.4.8. 和歌山
3. 黒田和久・大谷ひろ子・中村いつ子・畦智美紀・山田祐規子・土谷比奈子・山田ちゑ・芝崎かよみ・越村邦夫：当院の週間サマリーに対するスタッフによる自己評価 第69回和歌山透析研究会 2007.4.8. 和歌山
4. 大江さつき・日野友則・吉川郁美・西村ひとみ・鍋割久美子・岡田美保・日野直樹・要明雄・上村元洋：当院透析患者における健康食品、サプリメントの利用状況と血清アルミニウム値 第69回和歌山透析研究会 2007.4.8. 和歌山
5. 永井万智子・池田千代子・梅本一美・北林豊文・坂本久香・谷端恵子・藤田寿実子・藪添明子・吉村幸代・越村邦夫・半羽慶行・重松隆：和歌山県における透析患者の現状－血清リン値、BUN、血清アルブミン値についての検討－ 第69回和歌山透析研究会 2007.4.8. 和歌山
6. 藤田寿実子・山岡慶之・永井万智子・出口杏奈・阿部富彌・半羽慶行・重松隆：当院の透析患者の血清アルブミン値からみた栄養評価－第II報－ 第69回和歌山透析研究会 2007.4.8. 和歌山
7. 辻篤広・佛宏明・山川浩二・得津浩示・牧野美鈴・森義雄・田村公之・稲山えみ・半羽慶行・重松隆：V型ダイアライザーPES-150Saの性能評価 第69回和歌山透析研究会 2007.4.8. 和歌山
8. 浜崎嘉明・大松博美・清水繁子・東野奈美江・椎崎和弘・岡本昌典：当院におけるCa・P代謝に関する透析液Ca濃度 第69回和歌山透析研究会 2007.4.8. 和歌山
9. 中西敏之・高垣裕彦・北野拓志・柳瀬美穂・有本守・木村圭吾・笹原寛・児玉直也・後藤哲也・前田明文・児玉敏宏：「透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症治療ガイドライン」に基づいた当院での検討(第二報) 第69回和歌山透析研究会 2007.4.8. 和歌山
10. 阪口圭志・得津浩示・森義雄・田村公之・稲山えみ・半羽慶行・重松隆：維持透析患者の赤血球容積(MCV)に関する検討 第69回和歌山透析研究会 2007.4.8. 和歌山
11. 大浦真紀・岡田規・龍田浩一・小田稔・坂口俊文・根木茂雄・重松隆：メシル酸ナファモスタットによるアナフィラキシーショックを生じた3症例 第69回和歌山透析研究会 2007.4.8. 和歌山
12. 半羽慶行・岡田規・龍田浩一・国本健・小田稔・椎崎和弘・坂口俊文・根木茂雄・重松隆：PTX high risk 症例に対する当院でのPEIT治療成績 第12回副甲状腺インターベンション研究会 2007.9.1. 東京
13. 星山彩子・半羽慶行・貴田岡正史：二次性副甲状腺機能亢進症に対するPEITの効果－6ヶ月後、12ヶ月後の評

価 第12回副甲状腺インターベンション研究会 2007.9.1. 東京

14. 大浦真紀：チオプロニンにより発症したネフローゼ症候群の1例 第39回ネフロロジー・フォーラム和歌山 2007.1.27. 和歌山
15. 南良暢・大矢昌樹・大谷晴久・木村圭吾・児玉直也・後藤哲也・前田明文・鈴木正樹・藤原啓次・山中昇・湯川進：IgA腎症の扁桃摘出＋ステロイドパルス療法 第39回ネフロロジー・フォーラム和歌山 2007.1.27. 和歌山
16. 稲山えみ・半羽慶行・小田稔・坂口俊文・根木茂雄・重松隆・阪口圭志・得津浩示・森義雄・田村公之：透析患者の赤血球容積(MCV)の解析 第16回腎とエリスロポエチン研究会 2007.11.17. 東京
17. 井上富博・阪口靖子・武田朱美・西田美保・国本健・小田稔：外来透析患者の透析カード携帯の現状－災害に関する意識調査を通して－ 第70回和歌山透析研究会 2007.12.9. 和歌山
18. 上門志野・森脇糸央里・北畑知佐子・吉田里奈・阿部泰代・笹原寛・児玉直也・後藤哲也・前田明文：腹臥位療法によるADL拡大を目指して 第70回和歌山透析研究会 2007.12.9. 和歌山
19. 佐東睦夫・土佐淳一・中田和幸・榎本則子・小南充司・秋山速・山本さちこ・五十嵐信子・辻内政行・蔵垣内知子・石井純子・加太勇・中西健悟・田中智珠子・岡本幸子・笹原寛・児玉直也・後藤哲也・前田明文・木村圭吾・児玉敏宏・重松隆：外来透析患者の転倒予防に対する取り組み 第70回和歌山透析研究会 2007.12.9. 和歌山
20. 市橋文枝・田端祐子・山口真喜子・岡本光平・北野拓志・高垣裕彦・柳瀬美穂・有本守・笹原寛・木村圭吾・児玉直也・後藤哲也・前田明文・児玉敏宏：KRN1493(レグパラ®)の長期使用経験 第70回和歌山透析研究会 2007.12.9. 和歌山
21. 岩倉正朋・瀬古博之・坂本亮輔・中西理恵子・古田千佳・間生ゆり・上村元洋：トリアセテートホローファイバーダイアライザーFB-250Uβの臨床評価 第70回和歌山透析研究会 2007.12.9. 和歌山
22. 小田敏徳・西山一郎・武田治子・澤田康幸・半羽慶行・間生ゆり・松尾恒久：血液透析とLDL吸着療法の同時併用療法の一症例 第70回和歌山透析研究会 2007.12.9. 和歌山
23. 有馬三喜・辻井淳史・土生川仁美・植田博明・高居俊文・林照・植木隼人・有本守・笹原寛・児玉直也・後藤哲也・前田明文・木村圭吾・児玉敏宏・重松隆：血液透析患者におけるダルベポエチンアルファの効果の規定因子の検討 第70回和歌山透析研究会 2007.12.9. 和歌山
24. 北林豊文・池田千代子・梅本一美・楠原洋子・越村邦夫・谷端恵子・永井万智子・藤田寿実子・藪添明子・吉村幸代・半羽慶行・重松隆：和歌山県における透析患者の現状－血清カリウム、リン、BUN、アルブミン値の施設別平均の検討－ 第70回和歌山透析研究会 2007.12.9. 和歌山
25. 永井万智子・池田千代子・梅本一美・北林豊文・楠原洋子・越村邦夫・谷端恵子・藤田寿実子・藪添明子・吉村幸代・半羽慶行・重松隆：和歌山県の透析患者におけるBMIと検査値との関連 第70回和歌山透析研究会 2007.12.9. 和歌山
26. 藤田寿実子・山岡慶之・永井万智子・中谷剛・半羽慶行・重松隆：当院の透析患者の血清アルブミン値からみた栄養評価－第Ⅲ報－ 第70回和歌山透析研究会 2007.12.9. 和歌山
27. 高橋賢・日野友則・吉川郁美・大江さつき・岡田美保・鍋割久美子・北山兼人・宇祢嶋智恵・要明雄・上村元洋・阿部富彌：透析患者における祈りに関する意識調査について 第70回和歌山透析研究会 2007.12.9. 和歌山
28. 越村邦夫・大谷ひろ子・中村いつ子・畦智美紀・東敏朗・丸谷千栄美・原田美凡・黒田和久・山田佑規子・土谷比奈子・山田ちゑ・芝崎かよみ・坂本悠斗・高田利香：血糖値の不安定な糖尿病透析患者に対する混合型インスリン療法と強化インスリン療法の比較 第70回和歌山透析研究会 2007.12.9. 和歌山
29. 柏井利彦：抗エリスロポエチン抗体陽性を呈した慢性腎不全の一例 第70回和歌山透析研究会 2007.12.9. 和歌山
30. 中村秀也・岡崎智哉・岡本まりこ・成田ひとみ・川井麻衣・五味純子・山下治子・峯玉哲詞・鈴間孝臣・茂原治：高カリウム血症にて徐脈を示した1例 第70回和歌山透析研究会 2007.12.9. 和歌山
31. 根木茂雄・織田ひかり・坂口俊文・重松隆：当院における緊急を要するバスキュラーアクセス関連手術の検討 第70回和歌山透析研究会 2007.12.9. 和歌山
32. 柏井利彦：2006年末和歌山県における慢性透析療法の現況 第70回和歌山透析研究会 2007.12.9. 和歌山
33. 黒田和久・大谷ひろ子・中村いつ子・畦智美紀・東敏朗・原田美凡・森由菜・和平富枝・山田祐規子・土谷比奈子・山田ちゑ・芝崎かよみ・越村邦夫：当院透析患者さんの週間サマリーについて 第44回三重県透析研究会 2007.2.18. 津市

34. 駒場大峰・竹田陽子・門口啓・北浦圭介・藤井秀毅・阿部貴弥・阿部文・梅津道夫・深川雅史：出産後、広範囲に下肢静脈血栓症を発症したネフローゼ症候群の一例 第17回腎と妊娠研究会 2007.3.3. 東京
35. 内古閑修・後藤俊介・駒場大峰・門口啓・藤井秀毅・濱田康弘・阿部貴弥・梅津道夫・深川雅史：長期のBisacodyl使用により、低カリウム血症をきたした一例 第39回臨床体液研究会 2007.10.13. 東京
36. 越田紗葉・湯川進・西出巖・坂本亘・大谷晴久：動脈硬化危険因子時の血清 α_1 、 γ -tocopherol濃度とmyeloperoxidase(MPO)活性 第18回ビタミンE研究会 2007.1.26-27. 長崎
37. 根木茂雄・小田稔・半羽慶行・国本健・岡田規・重松隆：維持血液透析患者におけるHb値と入院・心血管系疾患・シャントトラブルとの関連性の検討 第5回和歌山動脈硬化セミナー 2007.9.27. 和歌山
38. 龍田浩一・大浦真紀・小田稔・半羽慶行・坂口俊文・根木茂雄・重松隆：チオプロニンにより発症したネフローゼ症候群の一例 第9回紀泉フォーラム 2007.7.7. 泉佐野

◇その他（講演）

1. 重松隆：特別講演「成り立ちから考える高血圧と腎臓病」 第10回りんくう腎疾患病診連携の会 2007.2.3.大阪
2. 半羽慶行：一般演題「アセテートフリー透析液 カーボスターの使用経験」 カーボスター発売記念講演会 2007.12.13. 和歌山
3. 重松隆：基調講演「慢性腎臓病（CKD）について」 CKD講演会ー日本の腎臓を守りたいー 2007.9.29. 和歌山
4. 重松隆：講演「慢性腎臓病について」 紀ノ川CKDフォーラム 2007.4.13. 岩出
5. 重松隆：特別講演「心・血管合併症予防を重視したリン・Ca代謝異常に関するわが国の治療ガイドライン」 第5回腎と心・血管フォーラム
6. 重松隆：学術講演「成り立ちから考える高血圧と腎臓病治療」 第38回和歌山県医師会内科医会総会 2007.5.19. 和歌山
7. 重松隆：「CKDの治療を症例から考える」 大阪CKDフォーラム 2007.6.9. 大阪
8. 重松隆：特別講演「慢性腎疾患（CKD）の治療方針」 第6回腎疾患勉強会 2007.7.5. 和歌山
9. 重松隆：「透析患者のCa、Pについて考える」 第17回中之島カンファレンス 2007.7.14. 大阪
10. 重松隆：特別講演「心臓病のリスクとしての腎性貧血」 和歌山CKD学術講演会 2007.9.20. 和歌山
11. 重松隆：「子どもから始まる「骨を守ろう」」 平成19年度潮岬幼稚園・潮岬小学校・潮岬中学校合同育友会主催 子育て講演会 2007.11.29. 東牟婁郡
12. 重松隆：「CKDの治療方針」 新宮市・東牟婁郡・紀南三医師会学術講演会 2007.10.6. 新宮
13. 重松隆：「高血圧と腎臓：成り立ちから考える治療」 紀南CASE-J Meeting 2007.1.12. 新宮
14. 大谷晴久：特別講演「腎臓と食事療法」「高齢者の脱水」 和歌山県栄養士会平成18年度生涯学習研修会 2007.1.13. 海南
15. 尾谷晴久：特別講演「慢性腎臓病の治療」 有田薬剤師会研修委員会生涯教育講座 2007.2.15. 有田川町
16. 大谷晴久：「高血圧と腎臓病」 第1回和歌山市脳心腎疾患予防セミナー 2007.2.24. 和歌山
17. 大谷晴久：特別講演「非糖尿病性腎症へのアプローチ」 和歌山CKDフォーラム 2007.3.15. 和歌山
18. 大谷晴久：特別講演「慢性糸球体腎炎の治療」 第2回岸和田腎カンファレンス 2007.6.2. 岸和田
19. 大谷晴久：「腎疾患の検査の見方と最新の治療」 和歌山MOCHIDA病診連携勉強会 2007.6.21. 和歌山
20. 大谷晴久：特別講演「腎臓病と高血圧」 第2回和歌山県病院薬剤師会生活習慣病学術講演会 2007.9.20.和歌山
21. 大谷晴久：特別講演「慢性腎炎の最新治療：IgA腎症は根治可能となった」 和歌山県医師会日医生涯教育講座 2007.10.13. 有田
22. 大谷晴久：「高血圧はなぜ怖い？寝たきり予防の徹底対策」「透析にならないために」 市民公開講座 2007.11.11. 和歌山
23. 大谷晴久：特別講演「IgA腎症の扁桃＋ステロイドパルス療法」 りんくう腎疾患治療検討会 2007.11.15.泉佐野
24. 大谷晴久：特別講演「腎臓病と高血圧」 和歌山市医師会第7班研修会 2007.11.24. 和歌山
25. 大谷晴久：教育講演「IgA腎症は根治可能となった」 第39回和歌山県医師会医学会総会 2007.12.2. 和歌山
26. 大谷晴久：「慢性腎臓病の検査と治療」 和歌山MOCHIDA病診連携勉強会(2) 2007.12.6. 和歌山
27. 重松隆：特別講演「臨床医学における腎臓を考える」 2007年南燈会 2007.1.7. 和歌山

- 28. 重松隆：「成田市から考える高血圧と腎臓病」 田辺市・日高・西牟婁郡三医師会学術講演会 2007.1.13. 田辺
- 29. 重松隆：公開講座「腎臓が悪いと言われたら？蛋白尿と血尿が見られる時」 平成18年度和歌山県立医科大学公開講座 2007.2.8. 和歌山
- 30. 重松隆：「CKD-MBDの治療戦略」 愛媛県血液浄化セミナー 2007.2.10. 松山
- 31. 重松隆：「子供から始まる「骨を守ろう」」 平成18年度和歌山市学校保健会研修会 2007.2.22. 和歌山
- 32. 重松隆：「慢性腎臓病について」 和歌山CKDフォーラム 2007.3.15. 和歌山
- 33. 重松隆：「臨床検査：透析患者における検査の見方考え方」 第28回透析技術認定士認定講習会 2007.3.23. 東京
- 34. 重松隆：「腎性骨症の変遷と今後の展望」 オキサロール発売7周年記念講演会 2007.6.30. 東京
- 35. 重松隆：「透析患者における検査成績の見方・考え方」 平成19年度透析療法従事職員研修 2007.7.21. さいたま
- 36. 重松隆：「腎性貧血に対する治療」 三重県ネスプ発売記念講演会 2007.9.15. 津
- 37. 重松隆：「腎性貧血に対する治療」 千葉県ネスプ発売記念講演会 2007.9.16. 千葉
- 38. 重松隆：体験授業「腎臓の果たす役割」 平成19年度和歌山県立医科大学医学部オープンキャンパス 2007.8.18. 和歌山
- 39. 重松隆：「ビタミンD大規模研究とそこから判るもの」 第2回MOST研究会 2007.9.23. 東京
- 40. 重松隆：「慢性腎臓病と治療の実際：高血圧治療中心に」 高血圧学術講演会 2007.10.11. 和歌山
- 41. 重松隆：「透析合併症を学ぼう」 第30回腎不全対策を語るつどい「腎臓病の予防と管理をともに考える」 2007.1.28. 和歌山

◇研究費交付状況

- 1. 平成19年度科学研究費補助金（基盤研究C） 重松隆：新規リン利尿因子の血管障害に対するリン感受性受容体としての機能解析
- 2. 平成19年度科学研究費補助金（若手研究A） 椎崎和弘：過形成副甲状腺に対する遺伝子導入とアポトーシス誘導に関する分子生物学的研究
- 3. 平成19年度腎不全病態研究助成 椎崎和弘：進行した二次性副甲状腺機能亢進症に対する遺伝子治療に関する研究
- 4. 平成19年度腎不全病態研究助成 国本健：CKD-MBD患者の骨折リスク評価に対するBMD測定の有用性の検討